



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2025年(令和7年)4月25日号 No.1989

目次

■ 2024～2025年のロシア・NIS諸国の経済(下)	1
■ 統計速報	13
2025年1～2月のロシアの貿易 / 13	
■ トピックス	14
日本・トルクメニスタン首脳会談 / 14	
トルクメニスタン大統領とのビジネスミーティングを開催 / 14	
NEXI、トルクメニスタン対外経済活動銀行と覚書締結 / 14	
日本旅行、キルギスと人材受け入れで協定締結 / 14	
プーチン大統領、西側企業の復帰条件作成を指示 / 14	

2024～2025年のロシア・NIS諸国の経済(下)

はじめに

前回に引き続き、CIS統計委員会および各国統計局発表のデータ等にもとづき、2024年の経済実績を中心にNIS諸国の最新の経済情勢についてのレビューを行う。

今回は、ロシア・NIS全般、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバについての解説をお届けした。今号では中央アジア諸国(カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン)、南コーカサス諸国(アゼルバイジャン、アルメニア、ジョージア)、モンゴルを扱う。

前号で掲載した主要経済指標について、最新の数字に更新したので、改めて掲載する。

カザフスタン： 堅調な経済成長の下、GDP倍増計画に着手

2024年、カザフスタンの経済成長は前年のGDP対前年比5.1%増から4.8%増へと若干減速した。原因は石油の減産で、2024年の石油生産は対前年比2.7%減の8,756万tに留まり、この結果、鉱工業生産の増加率は前年の4.4%から2.8%に縮小した。一方、好天に恵まれた農業は前年のマイナスから13.8%増と大幅な増加に転じ、ウクライナ戦争の影響等で二桁台が続いていたインフレ率は政府の金融引き締め政策が効を奏し、前年比8.7%と、依然として高くはあるものの開戦前の2021年(8.0%)に近い水準まで低下した。減産にも拘らず2024年の石油輸出は、物量ベース(7,102万t/0.5%増)でも金額ベース(4,288万ドル/1.3%増)でもほぼ前年と同水準を保ち、フェ